

2011年7月25日

日本空港ビルディング株式会社

羽田空港国内線 第2旅客ターミナル 3階 ディスカバリーミュージアム 第4回企画展について

日本空港ビルディング株式会社は、昨年10月13日(水)に供用開始いたしました第2旅客ターミナル本館南側拡張部分3階に国内空港初となる空港内美術館「ディスカバリーミュージアム」を開設し、ご利用のお客さまからご好評をいただいております。

今回の第4回企画展は、「^{は どう}波動を感じる ^{よこやまたいかん}横山大観展」と題し、永青文庫の創設者である細川護立^{もりたつ}の近代絵画のコレクションの中から、大観の作品を中心に展示。展示作品には、30年ぶりに公開される貴重な作品もございます。

この夏、ディスカバリーミュージアムにて、大観の絵から「波動(メッセージ)」を感じてみてください。

記

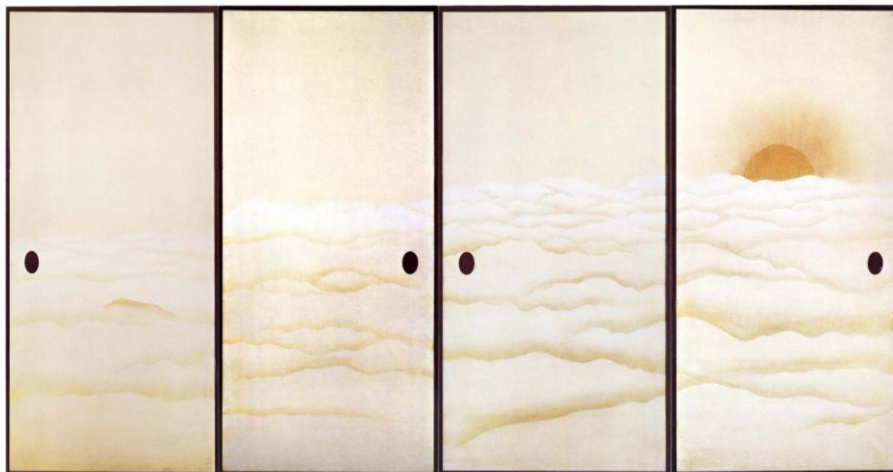
1. 次回企画展 「波動を感じる 横山大観展」(入場無料)
2. 期 間 【第1部】2011年7月27日(水)～2011年8月28日(日)(期間中無休)
【第2部】2011年9月1日(木)～2011年9月30日(金)(期間中無休)
※第1部と第2部では、すべての作品を入れ替え、異なった作品を展示いたします。
※展示替え作業のため、7月19日(火)～7月26日(火)と8月29日(月)～8月31日(水)まで休館させていただきます。
3. ディスカバリーミュージアム概要
 - (1) 場 所 第2旅客ターミナル3階 南端
 - (2) 開館時間 平 日 11:00～18:30(最終入場18:00)
土日祝祭日 10:00～18:30(最終入場18:00)
 - (3) 電話番号 03-6428-8735
 - (4) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

以 上

※ 永青文庫・・・700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。

【本件に関するお問い合わせ先】
日本空港ビルディング株式会社
事業開発・運営本部
施設管理部 広告・イベント課
電 話 (03) 5757-8520

【第1部 主要作品】※第2部では、すべての作品を入れ替え、異なった作品を展示いたします。



「波動をかんじる」という波動

横山大観筆 ^{うんかいずふすま}《雲海図襖》／大正10年(1921)【54歳】

朝陽が雲海を照らす光景を、胡粉(白い絵具)と金泥だけで表現した襖。雲の波間から押し寄せてくる光のシンフォニーを浴びて、今日が始まろうとしている。

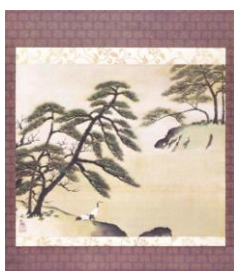


「富士山はどこにでもある」という波動

横山大観筆 ^{さんしよくあらたなり}《山色新》(勅題画)

／昭和3年(1928)【61歳】 絹本着色

横山大観は90年の画家人生で約1500点もの富士山を描いた。透明な富士山は、誰の心にも浮かぶ姿。大観は、どんなところにも富士山を見せてくれる。



「閉じたときに、持ち帰れる」という波動

横山大観筆 ^{さんすいぎよしゆうず}《山水漁舟図》(扇面)

／紙本墨画

一人釣り糸をたらす男をのせた小舟。扇の上に、悠久の時間が流れている。小さな画面に広がる大きな世界で、一休み。

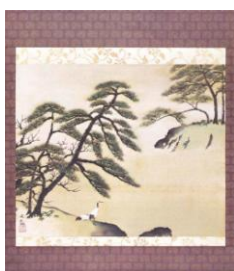


「前向きであれ」という波動

横山大観筆 ^{ちへんのつる}《池辺鶴》(勅題画)

／昭和10年(1935)【68歳】 絹本着色

向こう岸を見据える鶴と、傍らで安らぐ鶴。飛ぶ前に池のことを考えたら、深い谷底に思えてくる。目的地が見えていれば、それは水面にすぎない。



「波であり、雲であり、光である」という波動

横山大観筆 ^{きよくこうなみきてらす}《旭光照波》(勅題画)

／大正11年(1922)【55歳】 絹本着色

大観は生前、どうい絵が一番いい絵ですか?という質問にこう答えたという。「それは作品をみたら『あっ』というだけで、ものがいなくなるような絵だ。どうだこうだいえるような絵、いいくなるような絵はたいした絵ではない。」